



わたし、アナタ、min-na No.19  
**そのすがたがうれしい**

2020年 10月 28日 市立札幌開成中等教育学校便り  
 〒065-8558 札幌市東区北22条東21丁目1-1  
 TEL 011-788-6987(代表) FAX 011-781-5629  
 HP <http://www.kaisei-s.sapporo-c.ed.jp/>

メディアセンター編

ウポポイに行く前にアイヌの本を読んで  
 アイヌの知識をもっと深めよう！！

図書館員が  
 アイヌの本を  
 紹介してくれました！



アイヌは北海道だけでなく、もっと広い生活圏をもっていました。北方民族の歴史を知ると、北海道と世界のつながりが見えてきます。

「熱源」「ゴールデンカムイ」と合わせてどうぞ。

316マ『アイヌ先住民族、その不都合な真実20』  
 的場光昭著  
 北海道の先住民族であるアイヌ。そのアイヌ民族について20の項目を実際に報道された事実や著者のSNS上でのやり取りなどから、考察し、紹介していくとともに、日本政府のアイヌ政策の現状や実態をあきらかにしていくという一冊。アイヌについて表面上だけの理解をするのではなく様々な観点から深く学びたい、知りたいという方におすすめです。ウポポイなどの施設が設立され、アイヌの文化に注目されている今、この本を読んで私たちの故郷である北海道についてもっと知ってみませんか。(5年Kさん)



382イ『今学ぶアイヌ民族の歴史』加藤博文著  
 この本はアイヌ民族について、北海道の歴史と紐付け、旧石器時代から現代にいたるまで詳細に記述されている。特に、アイヌ民族の人々の歴史は争いの歴史について図や写真と共に詳しく語られている。アイヌ民族についての歴史を中心として歴史が語られることはあまりないが、この本では私たちが知っている歴史や人物とアイヌ民族の歴史を関わらせて書かれているため、難しく感じるところもあるが、テーマが細かく分かれているため、自分の興味のある内容を選んで読むことができる。アイヌ民族の歴史や文化について概要を知りたい方におすすめの本である。(5年Mさん)



382サ6『アイヌ語地名解』更科源蔵著  
 誰もが北海道の独特で難読の地名に興味をもっとことがあるでしょう。それらは実は、アイヌ語が由来となっているのです。「アイヌ」と聞くと遠い存在に感じますが、これを読めば、きっとあなたはアイヌが身近な存在となるでしょう。(4年蟬さん)



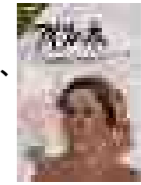
382ケ『北の彩時記アイヌの世界へ』計良光範著  
 「カムイ・アイヌ・もの」をつなぐのは霊である—皆さん、この言葉を聞いたことはありませんか？これを初めとするアイヌの教えは、私たちの日常と深い関係のあるものばかりでとても興味深いです。読了後、あなたの毎日はきっと新鮮なものにうつるはずです。さあ、アイヌの世界へ！(4年いとちゃん)



810ナ『日本語とアイヌ語の起源』鳴海日出志著  
 私たちの故郷、北海道。そんな北海道の先住民族、アイヌに独自の言葉「アイヌ語」があったことを知っていますか？例えば「花」。アイヌ語では「ノノ」と言います。この本では、日本語とアイヌ語の違い、起源が解き明かされています。一つの言語が成り立っていく瞬間に立ちあってみませんか？(4年ペンネーム希望さん)



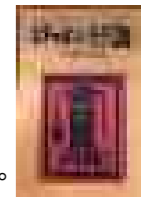
382イ『アイヌの本』石井慎二著  
 アイヌをファンタジー、いわゆる架空の存在とっていないだろうか？アイヌは昔から存在し続けている文化であり、同じ日本に生きている。私たちは日本人とアイヌを切り離して考えてしまっているが、決して遠い存在ではないのかもしれない。(4年龍さん)



316マ『アイヌ先住民族、その不都合な真実20』  
 的場光昭著  
 この本ではアイヌ民族に関する私たちが知らないような事実が書かれている。特にアイヌが酒飲みであることが原因で彼らが貧困に陥ったというエピソードには驚いた。他にも興味深い内容が沢山書かれているのでぜひ読んでいただきたい。(4年はんばーぐさん)



818ホ『ほっかいどう語—その発生と変遷—』  
 北海道新聞社編  
 この本では、北海道の言語の歴史についてまとめられており、一部ではあるがアイヌ語にも触れられている。例えば、コンカ=(黄金)、シルカ=(銀)、カムイ(神)などは、日本語からアイヌ語に取り込まれた単語だと書かれている。私は「札幌」などの地名のように、アイヌ語が北海道の言語に取り入れられているのは知っていたが、もともと日本語だった単語がアイヌ語になるという発想はなかったため、とても驚いた。このように、アイヌについて新たな発見がたくさんあると思うので、本書をぜひ読んでいただきたい。(4年赤とんぼさん)



382ギ『銀のしずく アイヌ民族は、いま』  
 北海道新聞社社会部編  
 この本では当時のアイヌ民族の方々ではなくその子孫にフォーカスされている。民族に対する差別や権利について当事者の声リアルに記録されており、興味深い一冊である。「アイヌだから」この理由で辛い思いをしてきた人がいること、目立たずに生きていたいと思う人がいる人を初めて知った。この機会にアイヌの文化だけではなくアイヌ民族のいまにも目を向けてみてはどうだろうか？(4年味噌さん)



NPO法人 猫の手さっぽろ 山本章吾さんを紹介いたします！

すでにお馴染みで知っている人も多いと思いますが、山本さんには今年6月から毎週火・金曜日の16時45分～18時30分にDP生への本の貸出業務をお手伝いしていただいています。

画家として、ノイズミュージック制作など多方面でもご活躍中の山本さんは、多くの他言語も堪能です。子どもの頃はお父様のお仕事の関係で外国で生活されていたそうです。

そんな山本さんからは、外国人作家の本をたくさん紹介していただきましたのでぜひ読んでみてください!!

701フ『シュルレアリスム宣言/溶ける魚』A・ブルトン  
20世紀最大の芸術運動とも言われるシュルレアリスムの創始者アンドレ・ブルトンによる書物。この宣言でシュルレアリスムとは何かを定義付けた。同時収録はシュルレアリスムの手法で書かれた詩集です。合わせて小説『ナジャ』もおすすめです。



953ハ『眼球譚』G・バタイユ  
思想家であり小説家でもある元シュルレアリストのジョルジュ・バタイユによる、球体にまつわる話。内容はショッキングかつえげつないので、そういう刺激に弱い方は注意が必要です。個人的には大好きな作品です。



913オ『万延元年のフットボール』大江健三郎  
高校生の時に誰も借りていない大江健三郎全集を貪るように読んでいたことを思い出す。当時は批判もされた大江健三郎の文体が非常に最高なので、是非読んで頂けたら嬉しいです。



953サ『嘔吐』J・P・サルトル  
実存主義を唱えた哲学者サルトルによる小説。読了後は「マロニエの木の下で・・・」と口走りたくなる。哲学的な小説が好きな方におすすめです。実存主義はなかなか面白いですよ。



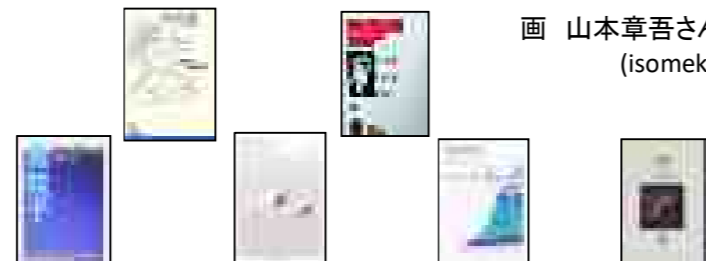
933フ1『響きと怒り』フォークナー  
アメリカ南部を舞台にした作品。「意識の流れ」を記述するという手法を生み出した。そのため内容が複雑に感じるが、その酩酊感、錯乱する感覚と共に作品にのめり込むことができる。やはり文学というのはいいなと再認識できる作品です。



953ル『大洪水』J・M・G・ルレクジオ  
2008年のノーベル賞作家ル・クレジオの小説。物語を楽しむというより言語の奔流に自ら溺れに行く感覚で読むと楽しいです。もちろん、話の内容も素敵です。



その他ご紹介いただいた本  
953フ『狂気』アンドレ・ブルトン  
953フ『ナジャ』アンドレ・ブルトン  
953ウ『素粒子』ミシェル・ウエルベック  
953ウ『ブラッドフォーム』ミシェル・ウエルベック  
853ウ『闘争領域の拡大』ミシェル・ウエルベック  
953ハ『青空』ジョルジュ・バタイユ



画 山本章吾さん (isomeki)

Pearson Graded Readers Level2		(英検準2級～2級レベル)
新着案内		
請求記号	タイトル	著者
830/ニ/2-1	Level 2: A Christmas Carol	Charles Dickens
830/キ/2-2	Level 2: Alice in Wonderland	Lewis Carroll
830/シ/2-3	Level 2: American Life	Vicky Shipton
830/ラ/2-4	Level 2: Audrey Hepburn	Chris Rice
830/テ/2-5	Level 2: Barack Obama	Coleen Degnan-Veness
830/セ/2-6	Level 2: Black Beauty	Anna Sewell
830/ロ/2-7	Level 2: Doctor Who: The Girl Who Died	Jane Rollason
830/テ/2-8	Level 2: Doctor Who: Robot of Sherwood	Nancy Taylor
830/テ/2-9	Level 2: Extreme Sports	Michael Dean
830/ロ/2-10	Level 2: Five Famous Fairy Tales	Jane Rollason
830/ト/2-11	Level 2: Five Plays for Today	Tonya Trappe
830/ロ/2-12	Level 2: Gandhi	Jane Rollason
830/ス/2-13	Level 2: Gulliver's Travels	Jonathan Swift
830/ス/2-14	Level 2: Heidi	Johanna Spyri
830/ス/2-15	Level 2: Kidnapped	Robert Louis Stevenson
830/テ/2-16	Level 2: King Arthur and the Knights of the Round Table	Deborah Tempest
830/シ/2-17	Level 2: London	Vicky Shipton
830/エ/2-18	Level 2: Lost in New York	John Escott
830/キ/2-19	Level 2: Lost Love and Other Stories	Jan Carew
830/ホ/2-20	Level 2: Marvel's The Avengers	Jacelyn Potter
830/フ/2-21	Level 2: Moonfleet	J.Meade Falkner
830/エ/2-22	Level 2: Mr. Bean in Town	John Escott
830/オ/2-23	Level 2: Persuasion	Jane Austen
830/イ/2-24	Level 2: Pirates of the Caribbean: Curse of the Black Pearl	Diana Eastment
830/オ/2-25	Level 2: Project Omega	Elaine O'Reilly
830/オ/2-26	Level 2: Robin Hood	Liz Austin
830/テ/2-27	Level 2: Robinson Crusoe	Daniel Defoe
830/ス/2-28	Level 2: Simply Suspense	Frank Stockton
830/フ/2-29	Level 2: Stranger than Fiction: Urban Myths	Phil Healey
830/ア/2-30	Level 2: Tales from Hans Andersen	Hans Andersen
830/コ/2-31	Level 2: Tales from the Arabian Nights	Anne Collins
830/ス/2-32	Level 2: The Amazon Rain Forest	Bernard Smith
830/エ/2-33	Level 2: The Ghost of Genny Castle	John Escott
830/ワ/2-34	Level 2: The Importance of Being Earnest	Oscar Wilde
830/キ/2-35	Level 2: The Jungle Book	Rudyard Kipling
830/チ/2-36	Level 2: The Lady in the Lake	Raymond Chandler
830/ク/2-37	Level 2: The Last of the Mohicans	James Fenimore Cooper
830/フ/2-38	Level 2: The Mysterious Island	Jules Verne]
830/ト/2-39	Level 2: The Prince and the Pauper	Mark Twain
830/ネ/2-40	Level 2: The Railway Children	E.Nesbit
830/キ/2-41	Level 2: The Room in the Tower and Other Ghost Stories	Rudyard Kipling
830/ハ/2-42	Level 2: The Scarlett Letter	Nathaniel Hawthorne
830/ト/2-43	Level 2: The Three Musketeers	Alexandre Dumas
830/フ/2-44	Level 2: The Voyages of Sinbad the Sailor	Pauline Francis
830/リ/2-45	Level 2: The Wave	Morton Rhue
830/ト/2-46	Level 2: Three Short Stories of Sherlock Holmes	Sir Arthur Conan Doyle
830/ス/2-47	Level 2: Treasure Island	Robert Louis Stevenson
830/マ/2-48	Level 2: Walkabout	James Vance Marshall
830/ロ/2-49	Level 2: White Fang	Jack London
830/ク/2-50	Level 2: The Wind in the Willows	Kenneth Grahame

「辞書は引かない」「分からないところは飛ばす」「合わないと思ったらその本をやめる」の3原則で！